



葉山ごみっぺらし通信

ごみへらし、  
すすんでるよ!



葉山発ゼロ・ウェイスト  
楽しくへらすごみ通信

編集 ごみへらし隊 発行 葉山町環境課

葉山で生まれた好奇心の小学生。  
葉太：9歳の小学生。

でっぶりカネン：葉山のでっぶり可燃ごみ。今年こそはでっぶり脱出!?



ほっそりカネン：でっぶり生ごみから開放されて今年もはれはれと。

一色台で

戸別収集が  
始まりました。



一色台団地みんなの  
資源小屋もできました。

一色台の住民の人  
たちの手作りで  
できたんだって。

新聞でも  
紹介されたワッ!



4月1日から一色台で「燃やすごみ」「容器包装プラスチック」「その他プラスチック」「草木類」の戸別収集がスタートしました。道路に面した敷地内に、自分の家のごみを出します。

一色台では、昨年夏に比べて「燃やすごみ」の量が72%減りました。一人一日あたりのごみ量は約220グラムになりました。葉山の一人あたりのごみ量は、約650グラムです。一色台では、昨年夏から生ごみ処理にも集中的に取り組む、約8割の人が生ごみ処理をしているので、燃やすごみも少なくなっています。



## 戸別収集と資源小屋、いかがですか？

一色台にお住まいの加藤さんは、小学生と幼稚園に通うお子さん2人のお母さん。子育て、仕事、家事に励む加藤さんにお話を聞きました。

Q. 戸別収集はいかがですか？

A. 容器包装の分別などわからないところは表を見て確認して出しています。ステーションまで行く手間が省けました。

Q. 資源小屋はいかがですか？

A. いつでも出せるので、家に資源ごみがたまりません。買う時にごみになるようなものは買わないで、古着などもすぐに捨てないで譲ったりするようになりました。



モデル事業が始まって一色台の雰囲気が変わったという加藤さん。高齢化の進む一色台では、昼でも人通りがほとんどなかったのが、資源小屋に散歩がてらに出てくる人が増えて、挨拶を交わせるようになりました。子どもが一人で外で遊んでいても安心できるような雰囲気になったとのこと。嬉しい効果ですね。



### <保冷剤編>



町では、不燃ごみとして回収していますが、いろんな活用法があるようです。その一部をご紹介しますと・・・

★保冷剤+アロマオイルで芳香剤に・・・

★保冷剤+タオルで暑い夏も冷え～



\*ゼリー状の保冷剤は、水とポリアクリル酸ナトリウムという物質でできています。紙オムツにも使われている物質です。

\*保冷バッグと保冷剤を買物時に持参するのが一番のおススメです。

## マイ傘袋でごみを減量！ ワークショップ参加者募集

役場の入り口でも「使いやすい」と評判の傘袋。お店や車の中で、濡れた傘を携帯するのにとても便利です。不要になった傘布であなたも傘袋を作ってみませんか？作り方などは、「ごみへらし隊」が教えます。

日時：6月23日（水）13時半～

場所：教育総合センター会議室1

持ち物：ミシン（お持ちの方のみ）

\*傘布はこちらで用意します。

申込：環境課 876-1111 内線451

「ごみっぺらし通信」はゼロ・ウェイストのボランティアスタッフによる広報紙です。

「ごみっぺらし通信」は、葉山町が進めるゼロ・ウェイストのボランティアスタッフ（通称「ごみへらし隊」）による町民目線の広報紙です。ただいま13名のメンバーですが、随時参加して下さる方を募集しています。お問い合わせ先：環境課（876-1111内線451）♪ごみっぺらし通信を町のホームページからご覧になれます。サイトはこちらから→[http://www.town.hayama.lg.jp/topics2/091104\\_info2.html](http://www.town.hayama.lg.jp/topics2/091104_info2.html)